

令和元年度 児童相談所での児童虐待相談対応件数

○児童相談所での児童虐待相談対応件数とその推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 頁

○児童相談所での児童虐待相談対応件数（対前年度比較、都道府県別）・・・・・・・・ 2 頁

○児童相談所での虐待相談の内容別件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 頁

○児童相談所での虐待相談の経路別件数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 頁

児童相談所での児童虐待相談対応件数とその推移

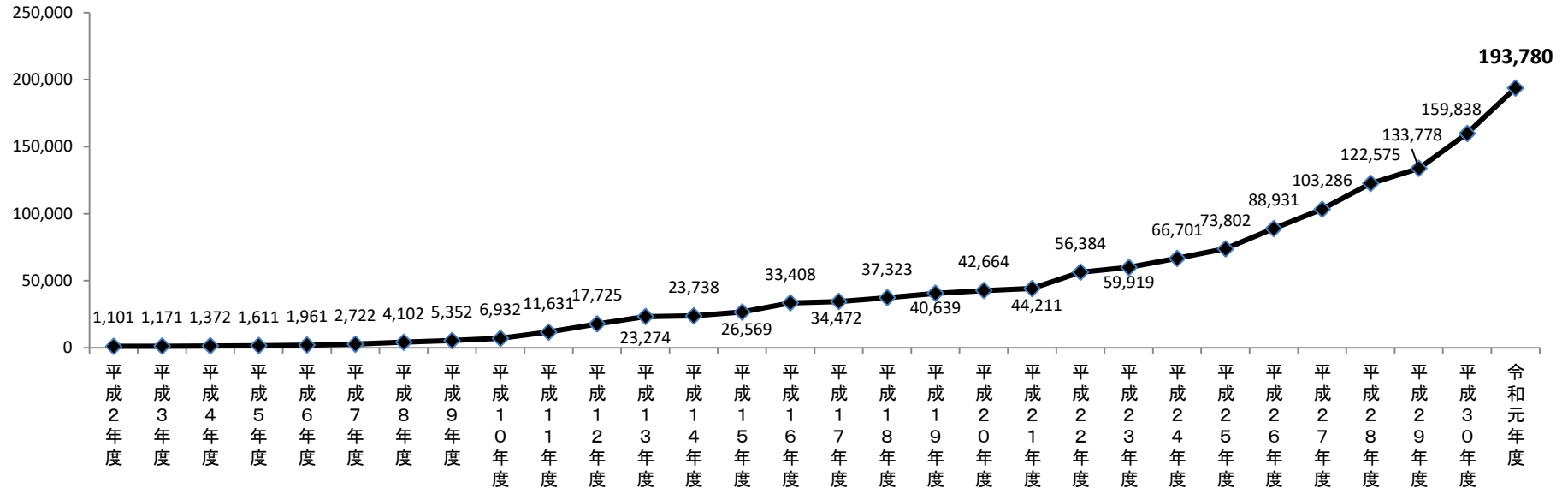
1. 令和元年度の児童相談所での児童虐待相談対応件数

令和元年度中に、全国215か所の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は193,780件で、過去最多。

※ 対前年度比+21.2%（33,942件の増加）

※ 相談対応件数とは、令和元年度中に児童相談所が相談を受け、援助方針会議の結果により指導や措置等を行った件数。

2. 児童虐待相談対応件数の推移



年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件数	42,664	44,211	注 56,384	59,919	66,701	73,802	88,931	103,286	122,575	133,778	159,838	193,780
対前年度比	+5.0%	+3.6%	-	-	+11.3%	+10.6%	+20.5%	+16.1%	+18.7%	+9.1%	+19.5%	+21.2%

（注）平成22年度の件数は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値。

3. 主な増加要因

- 心理的虐待に係る相談対応件数の増加（平成30年度：88,391件→令和元年度：109,118件（+20,727件））
- 警察等からの通告の増加（平成30年度：79,138件→令和元年度：96,473件（+17,335件））

（平成30年度と比して児童虐待相談対応件数が大幅に増加した自治体からの聞き取り）

- 心理的虐待が増加した要因として、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力がある事案（面前DV）について、警察からの通告が増加。

児童相談所での児童虐待相談対応件数(対前年度比較、都道府県、指定都市、児童相談所設置市別)

都道府県・指定都市・児童相談所設置市	児童相談所相談対応件数			対前年度比
	平成30年度	令和元年度	対前年度増減件数	
1 北海道	3,767	3,995	228	+6%
2 青森県	1,413	1,620	207	+15%
3 岩手県	1,178	1,427	249	+21%
4 宮城県	894	1,238	344	+38%
5 秋田県	464	588	124	+27%
6 山形県	413	760	347	+84%
7 福島県	1,549	2,024	475	+31%
8 茨城県	2,687	3,181	494	+18%
9 栃木県	1,336	1,721	385	+29%
10 群馬県	1,312	1,811	499	+38%
11 埼玉県	12,374	14,118	1,744	+14%
12 千葉県	7,547	9,061	1,514	+20%
13 東京都	16,967	21,659	4,692	+28%
14 神奈川県	5,838	7,349	1,511	+26%
15 新潟県	1,905	2,367	462	+24%
16 富山県	848	1,097	249	+29%
17 石川県	566	663	97	+17%
18 福井県	638	884	246	+39%
19 山梨県	904	1,218	314	+35%
20 長野県	2,370	2,804	434	+18%
21 岐阜県	1,405	2,280	875	+62%
22 静岡県	1,718	2,059	341	+20%
23 愛知県	4,731	6,045	1,314	+28%
24 三重県	2,074	2,229	155	+7%
25 滋賀県	1,638	1,856	218	+13%
26 京都府	1,984	2,231	247	+12%
27 大阪府	12,208	15,753	3,545	+29%
28 兵庫県	4,778	5,291	513	+11%
29 奈良県	1,825	1,832	7	+0%
30 和歌山県	1,328	1,691	363	+27%
31 鳥取県	80	110	30	+38%
32 島根県	300	395	95	+32%
33 岡山県	541	634	93	+17%
34 広島県	2,243	2,787	544	+24%
35 山口県	742	709	▲ 33	-4%
36 徳島県	756	880	124	+16%

都道府県・指定都市・児童相談所設置市	児童相談所相談対応件数			対前年度比
	平成30年度	令和元年度	対前年度増減件数	
37 香川県	1,375	1,228	▲ 147	-11%
38 愛媛県	890	1,172	282	+32%
39 高知県	420	458	38	+9%
40 福岡県	3,513	4,652	1,139	+32%
41 佐賀県	351	717	366	+104%
42 長崎県	898	1,053	155	+17%
43 熊本県	624	914	290	+46%
44 大分県	1,735	1,764	29	+2%
45 宮崎県	1,379	1,953	574	+42%
46 鹿児島県	1,131	1,696	565	+50%
47 沖縄県	1,100	1,607	507	+46%
48 札幌市	1,885	2,401	516	+27%
49 仙台市	901	1,117	216	+24%
50 さいたま市	2,960	3,355	395	+13%
51 千葉市	1,513	1,654	141	+9%
52 横浜市	6,403	7,051	648	+10%
53 川崎市	2,805	3,722	917	+33%
54 相模原市	1,432	1,532	100	+7%
55 新潟市	888	1,122	234	+26%
56 静岡市	618	638	20	+3%
57 浜松市	575	764	189	+33%
58 名古屋市	3,394	3,892	498	+15%
59 京都市	1,670	2,051	381	+23%
60 大阪市	6,316	6,523	207	+3%
61 堺市	2,170	2,367	197	+9%
62 神戸市	1,748	2,230	482	+28%
63 岡山市	431	448	17	+4%
64 広島市	1,776	1,731	▲ 45	-3%
65 北九州市	1,487	2,110	623	+42%
66 福岡市	1,908	2,449	541	+28%
67 熊本市	908	1,114	206	+23%
68 横須賀市	795	795	0	0%
69 金沢市	518	524	6	+1%
70 明石市		609		
全国	159,838	193,780	33,942	+21%

※指定都市、児童相談所設置市の件数は、都道府県の件数の外数である。 ※明石市は平成31年4月1日児童相談所開設。

児童相談所での虐待相談の内容別件数の推移

○ 令和元年度は、心理的虐待の割合が最も多く、次いで身体的虐待の割合が多い。

	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	総 数
平成20年度	16,343(38.3%)	15,905(37.3%)	1,324(3.1%)	9,092(21.3%)	42,664(100.0%)
平成21年度	17,371(39.3%)	15,185(34.3%)	1,350(3.1%)	10,305(23.3%)	44,211(100.0%)
平成22年度	21,559(38.2%)	18,352(32.5%)	1,405(2.5%)	15,068(26.7%)	56,384(100.0%)
平成23年度	21,942(36.6%)	18,847(31.5%)	1,460(2.4%)	17,670(29.5%)	59,919(100.0%)
平成24年度	23,579(35.4%)	19,250(28.9%)	1,449(2.2%)	22,423(33.6%)	66,701(100.0%)
平成25年度	24,245(32.9%)	19,627(26.6%)	1,582(2.1%)	28,348(38.4%)	73,802(100.0%)
平成26年度	26,181(29.4%)	22,455(25.2%)	1,520(1.7%)	38,775(43.6%)	88,931(100.0%)
平成27年度	28,621(27.7%)	24,444(23.7%)	1,521(1.5%)	48,700(47.2%)	103,286(100.0%)
平成28年度	31,925(26.0%)	25,842(21.1%)	1,622(1.3%)	63,186(51.5%)	122,575(100.0%)
平成29年度	33,223(24.8%)	26,821(20.0%)	1,537(1.1%)	72,197(54.0%)	133,778(100.0%)
平成30年度	40,238(25.2%)	29,479(18.4%)	1,730(1.1%)	88,391(55.3%)	159,838(100.0%)
令和元年度	49,240(25.4%) (+9,002)	33,345(17.2%) (+3,866)	2,077(1.1%) (+347)	109,118(56.3%) (+20,727)	193,780(100.0%) (+33,942)

※ 割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

※ 平成22年度は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値である。

児童相談所での虐待相談の経路別件数の推移

○ 令和元年度に、児童相談所に寄せられた虐待相談の相談経路は、警察等、近隣知人、家族、学校等からが多くなっている。

	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	都道府県 指定都市・中核市			市町村		児童福祉施設		保健所・医療機関		警察等	児童 委員	学校等			その他	総 数
				児童 相談所	福祉 事務所	保健 センター	福祉 事務所	保健 センター	保育所	児童福 祉施設	保健所	医療 機関			幼稚園	学校	教育 委員会		
20年度	7,281 (17.1%)	6,132 (14.4%)	558 (1.3%)	1,778 (4.2%)	1,252 (2.9%)	199 (0.5%)	4,801 (11.3%)	516 (1.2%)	829 (1.9%)	723 (1.7%)	282 (0.7%)	1,772 (4.2%)	6,133 (14.4%)	192 (0.5%)	198 (0.5%)	4,454 (10.4%)	234 (0.5%)	5,330 (12.5%)	42,664 (100.0%)
21年度	7,342 (16.6%)	7,615 (17.2%)	504 (1.1%)	2,667 (6.0%)	1,383 (3.1%)	187 (0.4%)	4,608 (10.4%)	474 (1.1%)	787 (1.8%)	614 (1.4%)	226 (0.5%)	1,715 (3.9%)	6,600 (14.9%)	206 (0.5%)	176 (0.4%)	4,858 (11.0%)	209 (0.5%)	4,040 (9.1%)	44,211 (100.0%)
22年度	8,908 (15.8%)	12,175 (21.6%)	696 (1.2%)	3,152 (5.6%)	1,324 (2.3%)	372 (0.7%)	5,535 (9.8%)	453 (0.8%)	862 (1.5%)	722 (1.3%)	155 (0.3%)	2,116 (3.8%)	9,135 (16.2%)	208 (0.4%)	216 (0.4%)	5,197 (9.2%)	254 (0.5%)	4,904 (8.7%)	56,384 (100.0%)
23年度	8,949 (14.9%)	12,813 (21.4%)	741 (1.2%)	3,621 (6.0%)	1,282 (2.1%)	340 (0.6%)	5,160 (8.6%)	366 (0.6%)	882 (1.5%)	634 (1.1%)	202 (0.3%)	2,310 (3.9%)	11,142 (18.6%)	220 (0.4%)	213 (0.4%)	5,536 (9.2%)	313 (0.5%)	5,195 (8.7%)	59,919 (100.0%)
24年度	8,664 (13.0%)	13,739 (20.6%)	773 (1.2%)	4,165 (6.2%)	1,220 (1.8%)	424 (0.6%)	5,339 (8.0%)	375 (0.6%)	909 (1.4%)	689 (1.0%)	221 (0.3%)	2,653 (4.0%)	16,003 (24.0%)	233 (0.3%)	211 (0.3%)	5,730 (8.6%)	303 (0.5%)	5,050 (7.6%)	66,701 (100.0%)
25年度	8,947 (12.1%)	13,866 (18.8%)	816 (1.1%)	4,835 (6.6%)	1,195 (1.6%)	375 (0.5%)	5,423 (7.3%)	292 (0.4%)	881 (1.2%)	799 (1.1%)	179 (0.2%)	2,525 (3.4%)	21,223 (28.8%)	225 (0.3%)	213 (0.3%)	6,006 (8.1%)	279 (0.4%)	5,723 (7.8%)	73,802 (100.0%)
26年度	9,802 (11.0%)	15,636 (17.6%)	849 (1.0%)	5,806 (6.5%)	1,448 (1.6%)	482 (0.5%)	5,625 (6.3%)	353 (0.4%)	906 (1.0%)	808 (0.9%)	155 (0.2%)	2,965 (3.3%)	29,172 (32.8%)	225 (0.3%)	259 (0.3%)	6,719 (7.6%)	278 (0.3%)	7,443 (8.4%)	88,931 (100.0%)
27年度	10,936 (10.6%)	17,415 (16.9%)	930 (0.9%)	6,372 (6.2%)	1,428 (1.4%)	429 (0.4%)	5,708 (5.5%)	339 (0.3%)	1,047 (1.0%)	678 (0.7%)	192 (0.2%)	3,078 (3.0%)	38,524 (37.3%)	179 (0.2%)	288 (0.3%)	7,546 (7.3%)	349 (0.3%)	7,848 (7.6%)	103,286 (100.0%)
28年度	11,535 (9.4%)	17,428 (14.2%)	1,108 (0.9%)	6,747 (5.5%)	1,499 (1.2%)	428 (0.3%)	6,174 (5.0%)	306 (0.2%)	947 (0.8%)	825 (0.7%)	203 (0.2%)	3,109 (2.5%)	54,812 (44.7%)	157 (0.1%)	248 (0.2%)	8,264 (6.7%)	338 (0.3%)	8,447 (6.9%)	122,575 (100.0%)
29年度	11,835 (8.8%)	16,982 (12.7%)	1,118 (0.8%)	6,328 (4.7%)	1,332 (1.0%)	457 (0.3%)	6,294 (4.7%)	273 (0.2%)	1,047 (0.8%)	999 (0.7%)	168 (0.1%)	3,199 (2.4%)	66,055 (49.4%)	131 (0.1%)	333 (0.2%)	8,605 (6.4%)	343 (0.3%)	8,279 (6.2%)	133,778 (100.0%)
30年度	13,492 (8.4%)	21,449 (13.4%)	1,414 (0.9%)	7,460 (4.7%)	1,345 (0.8%)	428 (0.3%)	6,986 (4.4%)	348 (0.2%)	1,397 (0.9%)	1,042 (0.7%)	216 (0.1%)	3,542 (2.2%)	79,138 (49.5%)	168 (0.1%)	406 (0.3%)	10,649 (6.7%)	394 (0.2%)	9,964 (6.2%)	159,838 (100.0%)
元年度	15,799 (8.2%)	25,285 (13.0%)	1,663 (0.9%)	9,313 (4.8%)	1,552 (0.8%)	467 (0.2%)	8,890 (4.6%)	396 (0.2%)	1,616 (0.8%)	1,255 (0.6%)	232 (0.1%)	3,675 (1.9%)	96,473 (49.8%)	148 (0.1%)	525 (0.3%)	13,856 (7.2%)	447 (0.2%)	12,188 (6.3%)	193,780 (100.0%)

※ 割合は四捨五入のため、100%にならない場合がある。

※ 平成22年度は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値である。